

シルバー大学校同窓会野木支部

地域貢献活動に進んで参加

シルバー大学校同窓会野木支部（代表 増淵俊則さん）は、栃木県シルバー大学校を卒業したメンバーで1998年7月に、野木町を拠点に、地域の福祉活動・文化活動、体育活動に参加・協力すると共に会員相互の親睦・向上を図ることを目的に設立されました。現在会員数は、33名です。

昨年度の主な活動は、①ひまわりフェスティバル、2019きらりフェスタへの出展（ストップ地球温暖化展示 PR） ②特養施設慰問（そば打ち体験） ③第11回のぎの楽市「えんにち」のビールまつりへの参加（アフリカンダンスを披露） ④りんご保育園もちつき会への支援活動 ⑤シルバー大学校南校への作品出展、南校同窓会グランドゴルフ大会参加 ⑥野木町長の講話と意見交換会 ⑦野木支部行事として演芸会（6月）、新年会（1月）などです。

これらの活動を通して、設立目的の達成並びに会員相互の結びつきが強まり、いきいきとしたシニアライフを楽しんでいます。



ストップ地球温暖化展示



ビールまつりでアフリカンダンス

「りんご保育園もちつき会」への支援活動

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け予定していた活動がなかなかできませんでしたが、12月15日、「りんご保育園もちつき会」への支援活動を行いました。会員5人でりんご保育園に訪問し、園児たちの大きなかけ声「よいしょ、よいしょ」に合わせて、きねとうすでもちつきをしました。園児たちは、全員もちつき体験をすることができ大喜びでした。最後につきたてのおもちで鏡もちを作り、園内に飾りました（取材担当 谷津）



メンバー5人で参加



園児の前で自己紹介



もちつきスタート



園児と一緒にもちつき



鏡もちの制作



大きな鏡もちが完成